



きのくにICTプログラミングコンテスト ～優秀賞～

12月19日(日)にオンラインで開催された「きのくに ICT プログラミングコンテスト Switch Up WAKAYAMA 最終審査会」で、環境科学科2年・奥田紗千さん、林祐樹くんのグループが「高等学校の部・優秀賞」を受賞しました。

2人は、居眠りする人の頭の動きに反応し、高周波のモスキート音を発生させ、その人を起こすという装置を制作しました。左の写真は、1月13日の賞状伝達の後、指導して下さった理科の山中資基先生と本校の校長室で撮影しました。

県データ利活用コンペティション ～データ利活用賞・サイバーリンクス賞～

12月18日(土)に開催された「第5回県データ利活用コンペティション最終審査」で、環境科学科2年・林祐樹くん、林慎一郎くんのチームが「データ利活用賞(第2位)」を受賞しました。また、環境科学科2年・榊原新菜さん、木村水羽さん、中村奏葉さん、西村彩花さん、南村真海さんのチームも「サイバーリンクス賞」を受賞し、2チームには、1月28日に校長先生から賞状が伝達されました。



県ヴォーカルアンサンブルコンテスト ～グランプリ受賞・全国大会へ～



1月10日(月)、メディア・アートホールを会場に県ヴォーカルアンサンブルコンテストが開催され、向陽中・高合唱部が金賞と、全出場団体で最高得点のグランプリを2年連続で勝ち取り、3月に福島市で開かれる第15回声楽アンサンブルコンテスト全国大会への出場を決めました。

中・高合唱部の16名は、「めばえ」と「Salve Regina」の2曲を歌い上げました。2曲目はラテン語詞の曲で、最初は戸惑ったものの、ラテン語に詳しい人に教えてもらいながら歌詞を読み返し、表現を工夫したそうです。昨年の全国大会は銅賞でしたが、今年はそれ以上の頑張りを期待しています。

向陽SSH成果発表会 ～課題研究を通しての交流～

2月4日(金)、本校の課題研究活動の成果を発表する「向陽SSH成果発表会」を校内各所で開催しました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、昨年と同様に校内関係者のみの参加としました。

1年生は体育館で「ポスターセッション」を行い、12月の「KECRe 発表会」から内容をさらに充実させたポスター発表を披露しました。2年生は、普通科文系が「ディベート」を、普通科理系・環境科学科が「課題研究の口頭発表」を行い、ディベートでは「コンビニの24時間営業」「9月入学」等の是非について激しい議論を繰り広げ、それを1年生が判定しました。

この日は、中学生も含めて、他の学年の発表を見学したり、質問したりすることで、中高や学年・学科の垣根を越えた交流が行われました。



左のQRコードをスマートフォンで読み取ると、本校のホームページが閲覧できます。